



丹精込めたひょうたんの品評会

野尻林業センターでひょうたんの品評会が野尻愛瓢会(安藤幸之代表)の主催で、十一月二十日に行われました。
一年かけて丹念に栽培した力作九十一点が勢揃い。ほとんどがはじめてのひょうたんの栽培でしたが見事なものにできあがっていました。栽培された皆さんは、今後絵付けや文字を書いて特産品にと張り切っています。

町民憲章

1. 水と緑と土におい、いっぱい住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切に、子どもの夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



大阿蘇絵画展

特選に本町の工藤さん(旭通)と白石さん(熊本市)



特選「農夫」工藤亮介さん



特選「春郊」白石恵一郎さん

毎月26日は風呂の日

平成6年11月に開館以来好評の高森温泉館。
開館5周年を記念に毎月26日を「風呂の日」として高森の特産品が当たる抽選会を行っています。
11月26日にはキャベツ、ダイコン、イチゴ等が用意され、先着300名が入湯券と引き替えにくじを引きました。キャベツ等を引き当てた人たちは野菜の高値の時期と重なりたいへん喜んでいました。
今後も町の特産品のPRと入湯者の増加につながればと毎月続けたいとのことです。



ダイコンを引き当て大喜びの入湯者

たのしい小学校 連合音楽会

11月6日、高森小学校の体育館で西原村を除く阿蘇南部地区の13の小学校、約500人の児童、先生が集まって連合音楽会が開催されました。
本町からも、高森東小、高森小、草部南部小、色見小、上色見小の5校全校が参加しました。
ハンドベルによる演奏や合唱、楽器演奏や、ボイス・コーラス等多彩な出し物に子どもたちも真剣に聞き入っていました。
子どもたちだけのすばらしい音楽会でした。



見事な演奏をしてくれた上色見小学校の児童

おめでた おくやみ

1998. 10月受付分 敬称略

赤ちゃんたんじょう

山永 将太ちゃん (横町) 9.25生	男	父 宏 母 真由美
安片 一恵ちゃん (小倉原) 9.26生	女	父 英 人 母 葉 子
田上 人生ちゃん (旭通) 10.3生	男	父 幸 二 母 さおり
平井かや乃ちゃん (横町) 10.6生	女	父 敏 朗 母 優 子
馬場 航希ちゃん (百刈) 10.8生	男	父 今朝男 母 とし子
桐原 梓希ちゃん (天神) 10.24生	女	父 徹 樹 母 美 樹

すえながくお幸せに

(福 田 章 高 森 ・ 下 町 (中村) 智美 岡 県 川 崎 町	10.10
(田 代 洋 樹 高 森 ・ 昭 和 (米野) 彩絵子 八 代 市	10.10
(井 芹 昌 晶 尾 下 ・ 片 山 (岡本) なおみ 熊 本 市	10.21
(今 吉 征 司 熊 本 ・ 市 (福永) 輝子 高 森 下 町	10.31

おくやみもうしあげます

住 所	御 遺 族 続柄	死 亡 者	年 齢
本 田 征 二	妻 本 田 義 恵	本 田 征 二	81
岩 下 都 義 幸	夫 岩 下 都 義 幸	岩 下 都 義 幸	88
佐 藤 幸 人	妻 佐 藤 幸 人	佐 藤 幸 人	91
本 田 義 盛	夫 本 田 義 盛	本 田 義 盛	82
岡 部 義 武	妻 岡 部 義 武	岡 部 義 武	81
前 田 和 紀	父 前 田 和 紀	前 田 和 紀	68
宇 藤 千 幸	母 宇 藤 千 幸	宇 藤 千 幸	85
本 田 義 盛	妻 本 田 義 盛	本 田 義 盛	73

人口の動き

(10月末日現在)	
世帯数	2,597 (3)
男	3,836 (4)
女	4,147 (0)
総 数	7,983 (4)

善意の灯

ありがとうございました
(敬称略)

町社会福祉協議会へ

<香典返し> 本田征二 岩下都義恵 佐藤幸人 本田隆清 岡部義武 前田和紀 宇藤千幸 本田義盛
<一般寄付> 高森寮 熊本県厚生農業協同組合連合会

広報送料寄付

林 泰宏 (下益城郡城南町)
渡辺 道敏 (北九州市小倉北区)
山口 巳和子 (山梨県甲府市)
吉村 京子 (鹿児島県松元町)
水口 悟・千衣子 (菊池郡西志志町)

お知らせのページ

高森温泉館だより 年末・年始の開館日

高森温泉館をいつもご利用いただき、ありがとうございます。
皆様方のご要望にお応えして次のとおり開館しますので、ご利用ください。[年末の12月30日までと年始の1月4日からは通常どおり(午前10時から午後10時)開館します。]

■ 12/31	休 館
■ 1 / 1	初湯解放 (午前0時から午後8時)
■ 1 / 2	初湯解放 (午前9時から午後8時)
■ 1 / 3	初湯解放 (午前9時から午後8時)

登記・人権 相談

土地・建物や商業・法人の登記でお困りの人はいませんか。登記・人権のことでお困りの方は、お気軽にご相談下さい。相談無料で秘密は堅く守られます。

年金相談

国民年金、厚生年金、社会保険についての相談を受けます。お気軽においでください。

とき 十二月二十五日(金) 午前10時から午後三時まで

ところ 林業総合センター 林業相談室

相談員 熊本地方法務局阿蘇支局員・地元人権擁護委員

心配ごと相談

何か福祉に関する事で心配ごとはありませんか？ 高森町社会福祉協議会では次のとおり心配ごと相談所を開設いたします。心配ごと相談員が相談をお受けします。お気軽にご相談下さい。

草部地区

とき 十二月十五日(火) 午前10時から午後三時まで

ところ 草部基幹集落センター

野尻地区

とき 十二月二十二日(火) 午前10時から午後三時まで

ところ 野尻林業センター

高森・色見地区

とき 一月十二日(火) 午前10時から午後三時まで

ところ 高森町中央公民館

休日 在宅医

診療は午前9時から午後5時まで

12月13日 馬原内科医院 Tel②-10646

12月20日 東 医 院 Tel②-10309

12月23日 中村医院 Tel⑦-12333

12月27日 立野病院 Tel⑧-10111

1月1日 寺崎医院 Tel②-10378

1月2日 南郷谷整形外科 Tel②-13351

1月3日 渡辺内科 Tel⑦-1777

1月10日 後藤医院 Tel⑦-10019

*都合により変更になる場合があります。阿蘇広域行政事務組合消防本部
テレホンサービスでお確かめください。 電話 0967-34-0099

編集後記

平成十年も、あとわずかとなくなりました。今年を振り返れば、私どもにとつて振り返りたくない一年といえそうですが、平成十一年は本場に町にとつて、皆さんにとつて、私にとつて素晴らしい年になることを期待したいと思えます。今年の冬は本格的な寒さが予想されていますが今のところは過ぎしやすい日々が続いています。今年はいじめて高森の冬を経験される方、冬の高森も最高と思えるような日々となつてほしいものです。来年は二十世紀最後の年、悔いのない素晴らしい一年であることを祈念いたします。田浩



高森町民合唱団「はなしのぶコーラス」のうっとりするハーモニーが場内に響いた。

ひびけ 阿蘇の野に ふれあいコンサート

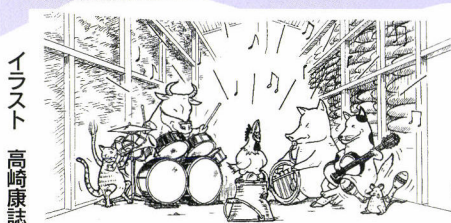


イラスト 高崎康誌

町民の・・・
町民による・・・
町民のための・・・
手作り音楽会

十一月一日午後一時半から二十一回目を数える「たかも町民音楽祭」岩下昭久実行委員長が、高森中学校体育館で盛大に開催されました。今年の出演者は十二団体、二個人。それぞれに日頃の熱心な練習成果を披露し、場内から大きな拍手が寄せられていました。

秋の夜長の音楽鑑賞。ある時は物思いにふけりながら、心安らぐハーモニーと心を歌い上げるメロディーのとりことなり、またある時は何も考えずただジッとビートの利いたリズムに身体を揺らす。そんな秋の音楽会。



会場には熱心に聞き入るたくさんの観客の姿がありました。



今年の司会は、後藤一也さん(洗川)と田上千加さん(村山)。出演者にインクビュー中。

International Relationship 国際交流

南阿蘇中学生海外研修事業 大韓民国研修レポート



集団生活や異文化、人情などを直接感じることで、世界に貢献しうる人材育成を目的に南阿蘇六ヶ町村で実施している南阿蘇中学生海外研修には今年度は高森東中五名、高森中一名の計六名の生徒とリーダーとして日本体育大学一年生の飯塚直樹さん(旭通り)が参加されました。リーダー飯塚さんのレポートを掲載します。(平成十年八月十七日・二十一日)

「大韓民国研修に参加して」

リーダー 飯塚 直樹
(日本体育大学一年)



南阿蘇中学生海外研修で韓国へ二班のリーダーとして参加することになりましたが、自分自身海外ははじめてだったので期待と不安がありました。リーダーである自分でさえそういう気持ちだったので、中学生達はいよいよ一層の期待と不安を持っていたことでしょう。一日目は航空機でソウル空港へ行き、それから貸し切りバスで忠清南道へ向かいました。そ

のバスの中の中学生の行動には驚かしてしまいました。自動車は右側を通っているのを目を丸くする子や、ハングル文字で書いてある店名や、標識をみて驚く子など中学生なりに文化の違いを感じているのだろうと感じられました。それから忠清南道に着き受け入れ式や民泊家族との対面などがありました。残念なことには自分たちは民泊することができませんでした。民泊のできる中学生にはもう二度とできないかも知れない貴重な体験になったことだろうと思います。

県のお知らせ

熊本県優良木造住宅利子補給制度 第三回募集

良質な木材住宅の振興を図るため、住宅金融公庫の融資を受けて自らが居住するために地域材を使用した木材住宅を建設または購入しようとする方に対して、県が補助金を交付して、住まいづくりを応援する制度です。

■募集期間

平成十年十一月三十日(月)～平成十年十二月十一日(金)

■募集戸数 七十五戸

応募者多数の場合は抽選

■問い合わせ先

熊本県土木部住宅課計画係
TEL 096・383・1111
(内線6246)

国の教育ローン

年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に十年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。

また、この貸付は、国民金融公庫の一般教育ローンとの併

用もできます。

■融資金額 学生一人につき

厚生年金保険加入中の方 百万円以内
国民年金加入中の方 五十万円以内

■融資利率 年二・三十%

(平成十年十一月一日現在)
返済期間 八年以内
(据置期間は在学期間内での最長四年)

■お申し込み・問い合わせ先

(株)熊本県年金住宅福祉協会
TEL 096・326・1120

中小企業金融安定化

特別保証制度

国の「中小企業等貸し渋り対策大綱」に基づき、金融環境の変化により金融機関から必要事業資金の円滑な調達に支障をきたしている中小企業の方を対象とした「中小企業金融安定化特別保証制度」(信用保証協会保証付融資)が創設されました。

■保証対象者 金融環境の変化により金融機関から必要事業資金の調達に支障をきたしている適正かつ健全な事業を営む中小企業者で、事業所の所在する市町村長の認定を受けた方

*但し、認定を受けた方でも金融取引や財務内容の状況により保証の対象とならない場合があります。

融取引や財務内容の状況により保証の対象とならない場合があります。

■保証限度額 普通保証二億円以内、無担保保証五千万円以内、無担保無保証人保証一千万円以内

■担保・保証人 借入金が五千万円以内の場合は、原則として担保は不要です。

また、連帯保証人についても、第三者保証人は不要となっております。

■問い合わせ先

熊本県商工金融課
TEL 096・383・1111
(内線 5144)
熊本県信用保証協会
TEL 096・325・3221
フリーダイヤル 0120・69・3221

年末年始のし尿処理業務

年末十二月三十日午前中まで
年始一月四日より平常業務

お願い

一、年末し尿処理は早めに依頼すること
二、余裕のある便槽は年末のくみ取りは避け、次年に依頼すること
連絡先 大阿蘇清掃社
TEL 096・279・3220

自分たちのことは自分たちで… 手作り音楽祭の意義

苦しい実状もあるが、これも手作りの良さ、まちの誇りに思いたい

この町民音楽祭は第一回から「自分たちで出来ることは自分たちで」をモットーに活動してきました。行政の力を借りなければならぬ所はもちろん手助けを得ながらですが、企画構成から準備、実行、音響、照明、後片付けまで、住民主体による「出演者イコールスタッフ」という精神を忘れることなく、みんなで力を合わせてきました。

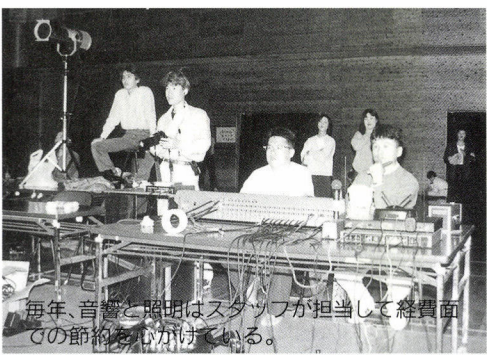
これまで、実行委員会と一般の協力者、出演団体の盛り上がりで出演者数も増えて大規模の音楽会になりましたが、県内でも貴重な文化活動になりました。

出演団体紹介 (出演順)

- ▽高森保育園 (親子コーラス)
- ▽高森幼稚園 (器楽合奏)
- ▽上色見小学校 (器楽合奏)
- ▽高森小学校 (器楽合奏)
- ▽上色見小学校 (合唱)
- ▽はなしのぶコーラス
- ▽琴城流高森教室 (大正琴合奏)
- ▽ピアノ独奏 (甲斐綱乃・河崎江梨奈)
- ▽高森中三年生 (コーラス)
- ▽奥阿蘇ウィングス (草部バンド)
- ▽F・F・B (上色見バンド)
- ▽高森中吹奏楽部
- ▽ヤングノーブルスオーケストラ (高森町民バンド)



ドントロド！
高森幼稚園の
器楽合奏。



毎年、音響と照明はスタッフが担当して経費面での節約を心がけている。

企画・準備から実行までをみんなで力を合わせて…

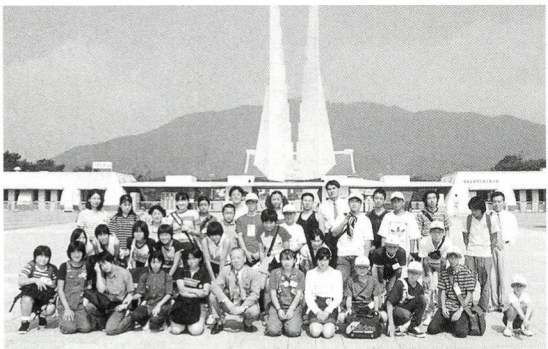
今年も音楽祭実行のための全てを実行委員会メンバーが分担して担当。出演者も兼ねるため大忙しの状況の中にも、出演者のステージでの張り切る姿が励みです。「みんなのために頑張ります。」との声が聞かれた。



色見小のコーラス。コーラスの中に詞の朗読が入るといふオペレッタ構成



各出演団体の力を合わせて、次の出演団体のために楽器やマイクなどをみんなで設営準備。



独立記念館前で研修生集合

民泊先へ二人一組で行ってしましました。

次の日の朝、中学生達にあつてみたら片言の英語や韓国語で民泊先の子どもたちとうち解けていました。その日はみんな扶蘇山に登り、午後は民泊先の家族との行動でした。後で何をしていたかと聞くと、研修で行かない観光地や面白い物に行ったことなどを楽しそうに話していましたが、よほど楽しかったのだらうと思います。

三日目の朝、民泊先の家族と別れる中学生達はとても残念そう、バスに乗って出発したときも姿が見えなくなるまで手を振っているのを見て、この民泊は成功だったのだなあと思いました。

それから貸し切りバスで独立記念館や民族村を見学しました。

そして、最終日の朝、航空機に乗り南阿蘇中学生の海外研修は終わりを告げました。

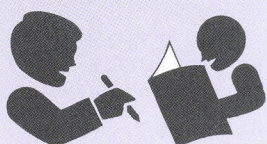
たった五日間の短い間だったけれど、外国の人々とふれあつてきたのはこれからの人生を過ごす上でとても貴重な体験になったことでしょう。私も機会があればまた参加したいと思えます。ありがとうございました。

製造事業所の皆様へ 統計調査にご協力下さい

12月31日現在で、次の統計調査が同時に行われます。
平成10年工業統計調査—製造事業所の実態を調査

平成10年石油等消費 従業者30人以上の製造
構造統計調査—事業所の石油等の消費
実態を調査

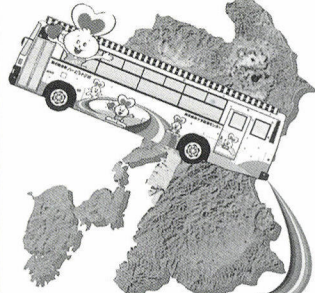
12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。
なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、数字等の正確な御記入をお願いします。



通商産業省
熊本県
高森町

愛の献血

あなたのやさしさが
だれかの元気！



献血ありがとうございます
県庁献血ルーム 下通り献血ルーム
(096) 386-1675 (096) 325-9218
熊本県赤十字血液センター
TEL (096) 384-2111

移動献血車が行ってきます
あなたの善意を
お寄せください



■とき 12月21日(月曜日)
午前10時から午前11時半まで
午後0時半から午後4時まで

■ところ 林業総合センター

□次の献血予定日 2月26日(金) (成分献血)



旅に出るなら 南鉄旅行へ

南阿蘇鉄道では旅行業の充実を図り皆様のご希望に答えるために専門スタッフが高森駅に常駐しています。

敬老会や納税組合の旅行、婦人会の旅行や職場の慰安旅行、研修、東京や大阪等へのプライベートな旅行、また新婚旅行の相談等気軽に応じ、安心のできる旅をご提供いたします。

旅のお出かけの前に 必ず
南鉄旅行 電話 2-0058、2-1219
ファックス 2-0433
海外旅行・航空券・JR券の商品を扱っています。
南阿蘇鉄道株式会社
代表取締役 今村博信

■工事名 久原・須坂線下水排水路改良工事(第一工区)
□工期 平成十年十二月二日から平成十一年三月十五日まで
□金額 八百二十九万五千円
□請負者 (株)草村道路建設工業

■工事名 湧水館周辺整備工事
□工期 平成十年十二月二日から平成十一年三月十日まで
□金額 一億九千七百二十九万二千五百円
□請負者 (株)ミヤデン

■工事名 小久保谷川災害復旧工事
□工期 平成十年十一月四日から平成十一年三月十五日まで
□金額 六百三十万円
□請負者 (有)村下建設

■工事名 西丁口・中園線一工区道路排水処理工事
□工期 平成十年十二月二日から平成十一年三月十五日まで
□金額 六百三十六万三千円
□請負者 (資)石原建設

入札結果(五百万円以上)

■相談員 人権擁護委員
法務局職員
■お問い合わせ先
熊本地方法務局阿蘇支局
TEL 0967・22・0137

十一月三日と四日の二日間
にわたり、今年も林業総合センターで町文化協会(山村文子会長・高森町・教育委員会主催による第三十回高森町文化祭が開催されました。
この催しは県芸術祭参加の企画であり、まちの素晴らしい文化と芸術を広く内外に発信するものです。今年には町文化協会創立二十周年にちなんで各部門からの作品が当たる抽選会が行われました。
今年も文化協会員はもちろん、高森寮や梅香苑等の十五部門の展示と発表があり、二日間を通して五〇〇人ものたくさんの人がつめかけました。
町民の皆様が日頃からの文化活動の集大成を一挙展示に訪れた観衆は素晴らしい見入っていました。

世界人権宣言採択五十周年 無料人権相談所開設

すべての人間の自由・平等・無差別の原則を定めた世界人権宣言が国連で採択されてから今年十二月十日で五十周年を迎えます。
みなさんが、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、困りごとや心配ごとがあり、もししたら、法務局や人権擁護委員会にご相談下さい。親子、夫婦、扶養、相続、借地、借家、名義、信用、障害者、差別、いじめ、私的制裁、公害などの人権問題の相談に応じます。
法務局と阿蘇人権擁護協議会の共催により左記のとおり特設人権相談所を開設します。気軽に相談下さい。

特設人権相談所
■日時 十二月十六日(水)
午前十時～午後三時
■場所 高森町林業総合センター
■お問い合わせ先
熊本地方法務局阿蘇支局
TEL 096・383・1111
(内線7339)

地球温暖化防止策の一環として、低燃費で低公害な自動車を業務用として購入される中小企業の方々に、その資金を年一、八%の低利で融資する制度を九州ではじめて創設し、金融機関での受付をスタートしました。
県内に事業所または住所を一年以上有し、同一事業を一年以上営むこと、県税と市町村税を完納していることのほか、●対象車両 電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車
●融資限度 一企業当たり一千万円以内、自動車一台当たり五百万円以内
●返済期間 五年以内(うち据置期間六月以内)等が条件です。
●取扱金融機関 肥後銀行、熊本ファミリー銀行、熊本信用金庫、熊本中央信用金庫、熊本第一信用金庫、天草信用金庫、熊本県信用組合、商工組合中央金庫
■お問い合わせ先
熊本県環境保全課
TEL 096・383・1111
(内線7339)

保育サポーター 養成講座
あなたの子育て経験をいかしてみませんか?
子育てを終えた方や保育士(保育士)の資格をもつ方など、子どもに関わる仕事に就きたいと思っている方、保育サポーター養成講座を受講してみませんか?ふたたび能力をいかす手助けを行います。
■日時 平成十一年一月十二日から二十日
■場所 熊本市国際交流会館 熊本市花畑町四一八
■対象者 子育てを終え働きたいと思っている方や、保育士(保育士)資格をもつ方など、子どもに関わる仕事に就きたいと思っている方
■定員 四十名(定員になり次第締め切ります)
■受講料 無料
■問い合わせ・申込先
TEL 86010806
熊本市花畑町四一八 太陽生命 熊本第二ビル二階(財)二十世紀職業財団熊本事務所
TEL 096・324・2020
FAX 096・324・2104

文化と芸術の秋



高森町文化祭 11/3～4

■肥後狂句 □俳句 □書道
□写真 □生花(小原流・専正池坊・池坊・未生流) □押し花絵 □盆栽 □絵画
□手芸 □茶道 □竹製品
□ペーパーフラワー □高森寮 □梅香苑 □舞踊(松若会社中・満丸会社中)

出展・出演・参加団体紹介

第8回高森町 大阿蘇絵画展

町内外から800人が力作を鑑賞

今年で8回目となる、本町主催の大阿蘇絵画展が今年も11月10日～15日まで林業総合センターで開催されました。

町が主催する絵画展として注目を浴びており、今年も県内外から力作揃いの244点もの作品が出展され、高いレベルでの厳しい選出だったようです。結果は特選2点を含む15点が入賞し、65点が入選しました。

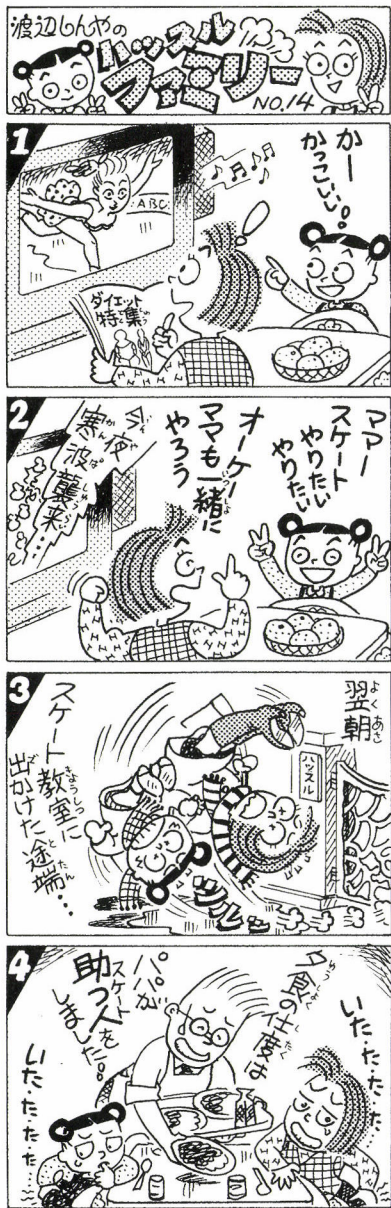
表彰式は11月15日に林業総合センター前で行われました。

審査員は熊本県文化協会長の三浦洋一氏、熊本県美術館副館長の坂田燦氏、熊本県美術協会評議員の姫野豊氏の三氏。(20ページ特選掲載)



たくさんの鑑賞者が訪れた大阿蘇絵画展

入賞者
◆特選 工藤亮介(高森町) 白石憲一郎(熊本市)
◆審査員賞 「烏帽子岳」 阿部惣一(熊本市) 「崩れゆく我が家」 勝田伸子(八代市) 藤本和子(熊本市)
◆入賞 「風」 西村隆夫(熊本市) 「根子岳」 坂本良子(七城町) 「秋気」 坂本良子(七城町) 「熊野神社」 岩崎和代(益城町) 「夜の『あそ』」 中川喜代子(熊本市) 「阿蘇の火口を飛ぶ」 美奈川ハナ子(玉名市) 「秋の阿蘇」 田上継春(熊本市) 「峠の秋」 藪野光三(大津町) 「惜別」 津留縫子(高森町) 「山里の秋」 奥村和歌子(熊本市) 「昼の月噴煙」 太田久美(熊本市)



「燃える若きやもん」「お母さんといっしょ」「動物は友だち」登場者募集中



十一月一日、午後六時半から高森自然学校(旧草部北部小学校)体育館で名人芸鑑賞会が開催されました。草部北部地区の若妻会(ひまわり会)が親子の楽しみにと「皿回しの名人」、熊本皿太郎さんと児玉登雄さんを招き、草部北部地域の皆さんにも楽しんでもらおうと主催し案内したものです。名人芸を一目見ようと約百五十名もの住民が駆けつけました。会場は地元の「こまどり姉妹(男性)」や「ユニークな麦畑のデュエット」等で盛り上がり、その後、熊本皿太郎さんの絶妙なしゃべりとプロ級の皿回し



芸(皿や、畳、急須など)で観衆は、笑いと芸の素晴らしさに見入っていました。また、西洋ノコギリを使った演奏もすばらしいものでした。皿太郎さんは本職は質屋さん、都合が付けば県内各地をボランティアで公演して廻っているそうです。

草部北部で名人芸鑑賞会

皿回しにノコギリ演奏

笑いと芸の素晴らしさに訪れた百五十名大満足

盛大に開催

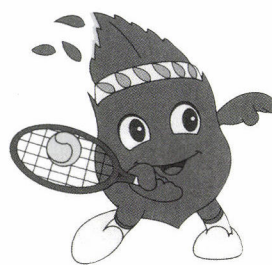
10 / 23 ~ 28

1999 高森国体



国体3位となった少年男子チーム。写真左から辻洋平さん(鎮西高校3年)、宮崎靖雄さん(マリスタ高校2年)、と打越監督。

十月二十三日から二十八日まで開催された「かながわ・ゆめ国体」では全競技、全種目で熱戦が繰り広げられました。来年本町では熊本国体のテニス競技が開催される中、熊本県テニス選手団十二名は、今大会初めて成年男女・少年男女の全種目に出場しました。競技の結果は、全種目で第一回戦を勝ち抜く活躍ぶり、中でも少年男子チームは次々とシード県を倒して準決勝進出を果たしました。惜しくも優勝した神奈川県チームに破れたものの、三位決定戦で愛知県に勝利して堂々の三位に輝きました。この活躍で熊本県チームは総合七位に初入賞し、来年の熊本国体に向けて大きな一歩となりました。また、この神奈川県国体には競技本部として競技面の運営を行う熊本県テニス協会の運営委員と、大会全般において企画・統括を行う本町と久木野村の国体担当職員も視察研修を行い、来年の国体に向けてそれぞれ具体的な準備に入りました。



県選手団大健闘 総合七位入賞

少年男子は三位入賞!

競技結果



少年の部開始式(平塚市総合体育館)

Sはシングルス、Wはダブルスの略

- ▼成年男子の部
1回戦 熊本3―石川1 (S2対1、W1対0)
2回戦 埼玉3―熊本1 (S2対1、W1対0)
- ▼成年女子の部
1回戦 熊本2―青森0 (S2対0)
2回戦 鹿児島2―熊本1 (S2対0)
- ▼少年男子の部
1回戦 熊本2―和歌山0 (S2対0)
2回戦 熊本2―福岡1 (S1対1、W1対0)
準々決勝 熊本2―高知1 (S1対1、W1対0)
準決勝 神奈川2―熊本1 (S1対1、W1対0)
3位決定戦 熊本2―愛知0 (S2対0)
▼少年女子の部
1回戦 熊本2―山口0 (S2対0)
2回戦 熊本2―熊本0 (S2対0)

第五十三回 かながわ・ゆめ国体 日程表

- 成年男女の部 川崎市
■少年男女の部 平塚市
- ▼九月二十五日(金)
テニス競技抽選会 (平塚市)
- ▼十月二十三日(金)
午後五時(川崎市)
- 代表者・監督会議
▼十月二十四日(土)
開会式(全競技種目の総合開会式)(横浜市)
▼十月二十五日(日)
午前八時半
開始式(川崎市とどろきアリーナ・平塚市総合体育館) 競技開始(二十八日まで)
▼十月二十八日(水)
午後一時
表彰式(川崎市・平塚市)

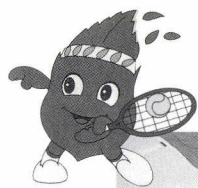
文芸 POETRY PAGE

肥後狂句 神無月(阿蘇御神火会)

嬉しい疲れ 愛とります無理します
おかしいぞ ひと駅前で降りますが
おもやいで 妙な関係かも知れん
嬉しい疲れ 産婆冥利にひたるる
惜しいこつ うしつる物はなんもなか
医者泣かせ 往診先ア「かずら橋」
おもやいで 今なら喧嘩する机
知れたもん 当選すれば取り戻す
おかしいぞ 賞味期限な消してある
おもやいで 老いても柵田守つとる
知れたもん 数より質で知らんとか
知れたもん 投網にも乱獲の付け

俳句 (河原すずきの句会)

鳥達の宿る羽音や秋深し
牧下りる子牛も小さき尾を振りて
親睦を深める地域文化祭
不気味とて野山彩る蝮蛇草
青々と早苗立つ如刈田跡
文教のただよう菊池文化祭
人待ちの車窓よこぎる流れ星
夕紅葉あるだけの日を使いきり
転居して木屋の香の流れ込む
道の辺も門辺も菊の頃となり



1999 高森国体

神奈川ゆめ国体

来年の熊本国体成功をお祈りします

私たちががんばっています

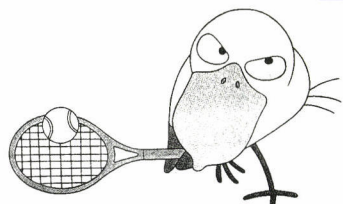


平塚市シャトルバス配送班と交通指導員の皆さん



平塚市受付班の皆さん

神奈川国体マスコット「かなべえ」



ボランティアの
顔・かお・力ご紹介

神奈川県は以前から、住民のボランティア意識が高く、行政が行う行事だけでなく色々なところでの活躍が報告されています。国体でも、この有効活用が図られ、ボランティアの皆さんの生き活きた活動が見られました。

神奈川国体ボランティアの皆さんの声

- 私は神奈川県のボランティア協会に登録して、いろんな大会にお手伝いしています。(川崎市シャトルバス運行管理班)
- 私は自分が出来ることに気軽に参加しました。熊本国体の成功を祈っています。(川崎市写真記録班)
- この国体に関わる事で、自分の思い出をつくり、やりがいと生き甲斐を感じたいと思って参加しました。(平塚市環境美化班)
- 「自分たちにできることは自分たちで」の精神で参加しました。選手達との交流も楽しいですね。(平塚市接待班)
- 何でもやってみると大変なんですね。実際にやってみて、知らなかったことが分かり色々勉強になりました。これからもできるだけ協力したいと思います。(平塚市受付班)

Volunteer

神奈川国体でも ボランティア大活躍

高森町・国体推進室

阿蘇郡高森町上色見2813 高森町民体育館内

電話 2・2991 FAX 2・0987

- 手話通訳スタッフ
- カメラ・ビデオスタッフ
- 接待スタッフ
- 会場美化スタッフ
- 観光案内スタッフ
- 駐車場整理スタッフ
- その他、「こぎゃん仕事はいらんどか?」「わたしやこぎゃんことはできるばってん」など、皆さんのアイデアや「売り込み」も大歓迎。お気軽にお電話ください。

た・か・も・り 国体
ボランティアスタッフ募集!
くまもと未来国体に協力
来々、本町で開催される国体テニス競技の成功のためには、役場の総力を結集することはもちろん、まちの皆さんのボランティアによるお力をお借りしなければなりません。大会の次の仕事について一般募集しますので応募ください。これは、来年十月二十三日からの国体本大会で、ボランティアスタッフとして活躍をお願いするものです。

詳しいことは「国体推進室」までどうぞ
電話 2・2991
(スタッフ衣服進呈)

国体まであと一年 みんなの力で国体成功!

LOCAL
EVENTS

みんなのひろば

ハイウッドクラブ

創立二十周年を記念しバスケット教室

バスケットの社会人クラブ(ハイウッドクラブ)が創立二十周年を記念してバスケット教室を企画。講師に、元全日本の大型センターとして活躍した岡山恭崇さん(住友金属勤務)を招き、阿蘇南部のバスケットボール部のある四つの中学校から六十名の参加がありました。



十一月八日、高森中学校体育館入り口には大きな靴が一足ありました。これは、言うまでもなく身長二百三十cmの岡山さんの靴だったのです。

かつて全日本のエースとして活躍された岡山さんは九州学院時代の同級生でハイウッドのコーチ志柿浩さん(上町)等の要請で大阪から来られたものです。

教室では、県の成年男子(先の神奈川国体では優勝)の監督の岩本亮一さん(県体育保健課勤務)とともに、「何をすることも目的を持って自主的にやること」などが基本であることなどをわかりやすく中学生たちに指導していました。中学生たちは三時間程の練習でしたが一回り大きく、上手くなったようでした。

ハイウッドクラブではクラブ員を募集しています。バスケットをやりたい方一緒にやりませんか? 連絡先 高森町役場農林振興課 丸山まで



高森中バスケット部員と



ゲームの優勝者にサイン入り本をプレゼントする岡山さん



高森東中バスケット部員と



含蔵寺境内を散策中

親子レクリエーションで楽しく町内を散策

10月31日(土)快晴のなか、高森小学校の3年生親子レクリエーションが行われ、児童46名と保護者の合わせて約100名が参加。含蔵寺や山村酒造、湧水トンネルをのんびりと親子でクイズを解きながら散策して廻り全員がゴールの体育館に無事到着。体育館ではビンゴゲームなどをして楽しみました。

日頃ゆっくり親子で歩くことなど少なくなった子どもたちにとっても保護者にとっても大切な楽しい一日となったことでしょう。この様な機会をどんどん作って視野の広い子どもたちへと成長してもらいたいものです。

奥阿蘇ウイングス 創立20周年 チャリティダンスパーティ

草部を活動の拠点としているロックバンドの奥阿蘇ウイングスが創立20周年を迎え、11月7日(土)、午後6時から記念チャリティダンスパーティを行いました。

会場にはウイングスのファンやダンス愛好家らおよそ100名が訪れ、ダンスやロック音楽で夜遅くまで楽しんでいました。

今回のパーティでの収益金はすべて町社会福祉協議会に寄付され、メンバーらは30周年、40周年が今のメンバープラスαでできるよう今後とも機会がある度に演奏したいと張り切っています。 女性ボーカル募集中!



結成20周年を迎えた奥阿蘇ウイングス

地域や学校・園・スポーツ大会などの楽しい話題や催しの情報・報告をお寄せください。(広報たかもり)

(14)

(7)

この社会 あなたの税が生きている

青色申告のおすすめ
所得税の申告の中に「青色申告」という制度があるのをご存知でしょうか？これは事業所得や不動産所得または山林所得のある人が、一定の帳簿に毎日の取引を記録し、その記録に基づいて申告すれば、所得や税額の面でいろいろ有利な取り扱いが受けられるという制度です。また、この制度を利用されていらない方には、是非お勧めします。節税につながることはもちろん、帳簿を付けることにより、経営の合理化に

青色申告のおすすめ

記帳に基づく正しい申告を
商売などをしていての方、自分の所得を正しく計算するためには、毎日の取引をきちんと記帳し、保存しておくことが必要です。
また、毎日の取引を正しく記帳しておけば、経営内容も正確につかむことができ、事業の発展に役立てることもできます。

もうすぐ 税申告の時期 さあ 決算準備を始めましょう

税務 広報

TAX INFORMATION

も大変役立ちます。

開始の手続きは、「青色申告承認申請書」を税務署に提出していただくだけで結構です。

記帳や決算、税申告、青色申告に関するおたずねはお気軽にどうぞ
阿蘇税務署
TEL 0967・22・0551

税を知る週間

十一月十日～十七日
各地で様々な催し

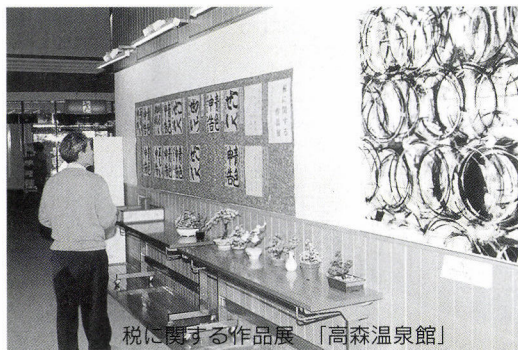
税を知ろう

(租税教室開催)

十一月十一日から十七日まで
は税週間でした。
今年も習字や作文などの小中高生の税に関する作品展や税の無料相談などたくさん催しが行われました。
本町では十一月十三日(金)午後七時半から下町公民館におい



租税教室の様子



税に関する作品展「高森温泉館」

て、高森校区婦人会や商工青年部の皆さんが税務署から講師を招き租税教室を行いました。
税は私たちが豊かで安定した生活ができるための大切な財源です。みんなで税についての理解を深めましょう。

国民年金だより

年金のない老後、考えられますか？

現在、高齢者世帯の9割以上が公的年金を受けています。

国民年金の給付

国民年金の給付には次のようなものがあります。老齢、障害、死亡などいづれにあなたをサポートします。

65歳になったら

老齢基礎年金が受けられます。

満額 799,500 円 (平成 10 年度)

保険料の納め忘れが全くない人は、満額の年金。
納めなかった月があればその月数分だけ減額された年金額になります。

皆さんの安心を約束！

国民年金は、国が責任をもって運営している安全で、信頼できます。物価スライド制なので、将来お金の価値が変わっても、それに見合う給付が保障されているので安心です。

障害になったら

障害基礎年金が受けられます。

1 級障害 999,400 円

2 級障害 799,500 円 (平成 10 年度)

例えば、交通事故にあい障害になったとします。この場合、障害基礎年金が受けられます。

もし、国民年金に加入していなかったら、どんなに重い障害でも何の年金も受けられません。

この差は大きいと思いませんか？

万一死亡したら

残された妻と子は

遺族基礎年金が受けられます。

一律 799,500 円 (平成 10 年度)

子の加算がプラスされます。

年金額をさらに増やす

老齢基礎年金に上乗せして、より多くの年金額にするのが国民年金基金です。これに加入できるのは第 1 号被保険者だけです。(任意加入です)

詳しくは役場町民福祉課国民年金担当まで

TEL 2-1111 (内線 132)

交通安全 Traffic Safety



シートベルトの着用の徹底 飲酒・暴走運転の追放

年末・年始は、交通量の増加に伴う道路の混雑に加え、飲酒の機会が多くなることなどにより交通事故の多発が懸念されるため、広く県民に交通安全知識を普及し、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣付け、併せてシートベルト着用日本一運動を効果的に推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とし行われるものです。

また、この季節は気温が下がり路面凍結も心配されます。スピードは控えめにし、安全運転に努めましょう。

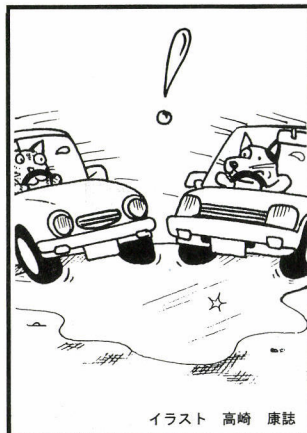


イラスト 高崎 康誌

年末・年始の

交通事故防止運動

期間 平成十年十二月二十四日から
平成十一年一月三日まで



シートベルト着用
日本一作戦展開中!

シートベルト 着用率調査を実施中

十一月二十六日、町ではシートベルト着用率調査を高森警察署前で行いました。これは、県交通安全推進連盟の取り組みとして県下一斉に市町村が取り組んだもので、結果は次のとおりです。

調査結果(着用した者の率)
十一月二十六日(県下五十六位)
■午前九時～十時
○運転席 八五、八％
○助手席 七七、八％

高齢者世帯訪問事業終了



訪問を受けたお年寄りと交通安全を呼びかける母の会

この事業は、年々増加する高齢者の交通事故を防止するため、高森町交通安全母の会(会長 本田美智子)会員の方々が、九月から町内の高齢者(六十五歳以上)の一人暮らし、二人暮らしの家庭約五百世帯を訪問。交通安全のパンフレット等を持って一軒一軒に「道路を横断するとき、右、左を確かめて横断しましょう。」「夜間外出には夜光タスキを着用しましょう。」などと交通安全を呼びかけました。

会員の皆さまご苦勞様でした。これを機会に今後も高齢世帯の訪問活動などで交通事故のないようご協力下さい。



TAKAMORI a Police Station 高森警察署だより

年末年始の犯罪や事故を防止しましょう

年の暮れは、どこの家庭でも正月を迎える準備など慌ただしさから、つい「心にスキ」をつくりがちで、各種の犯罪被害が心配されます。

このため、警察では各種防犯防止のため特別警戒活動を実施します。皆さんも次のことに十分注意して明るく楽しい正月をお迎え下さい。

※外出時には

- ◇ ちょっとした買物、用件の場合でも家を留守にする場合には、必ず鍵をかけて外出するよう心がけて下さい。
- ◇ 銀行・郵便局・農協等の金融機関に用のある場合には、多額のお金を持ち運ぶ場合が多いので周囲に気を使い、なるべくなら2人以上で出向くようにしましょう。

※車両を盗まれないために

- ◇ 自動車から離れるときは、ちょっとした間でも必ずキーを抜き、ドアロックをするよう心がけて下さい。
- ◇ オートバイは必ずロックを行い、またヘルメットはできるだけ持ち運ぶようにしましょう。
- ◇ 自転車には防犯登録を実施し、鍵をかけるようにしましょう。

高森警察署 TEL 2-0110

いよいよ年末 火災に注意！

～気をつけて はじめはすべて 小さな火～

人を守り、まちを守る消防団

早朝の非常呼集訓練・連結放水訓練
防火パレード



防火パレード

毎年恒例の防火パレードが高森幼稚園の幼年消防隊を先頭に大字高森内（四・五・六・七・機動分団）の消防車で町内をパレード。

高森町
消防団

十一月九日から十五日までは「秋の全国火災予防週間」期間前日の十一月八日の早朝六時、全町にサイレンが鳴り響きました。これは毎年行われている非常呼集訓練で、火災時期となる冬を前に消防団員はもちろん、住民の皆さんに防火、防災の意識を高めてもらおうと行われたものです。

この日、野尻、草部、色見、高森の全地区でそれぞれにこの訓練が一斉に行われ、各地に鳴り響いた防災行政無線からのサイレンにより、各分団は速やかに所定の位置に集合。

今年も昨年に引き続き消防ポンプを連結して水を放水する「連結放水訓練」も阿蘇広域消防署南部分署の指導協力を得て実施しました。

この連結放水は消防技術の中で特に難しい高度なもので、訓練の成果を見事に発揮し、素早い放水ができ、消防団員はもちろん、地域住民も安心されたことと思います。

十一月九日には十時より防火パレードが高森町から市街地まで行われました。

今年の高森幼稚園の幼年消防隊を先頭に大字高森内内の各分団（四・五・六・七・機動分団）から消防車七台のパレードが行われました。四つ角や信用組合前では、幼年消防隊が「火遊びはしません」と大きな元気な声で誓い、火の用心を訴えていました。

消防なんでも南部分署

さむくなってくれば？

阿蘇広域行政消防本部
南部分署 Tel 2-9034

12月にはいり本格的な冬が訪れます。どちらの家庭でも暖房器具が欠かすことの出来ない季節ですが、一言に暖房といってもいろいろな種類の器具があり、取り扱い方や使用燃料も違います。各家庭でよく見かけるものをいくつか挙げてみましょう。

①ストーブ・ファンヒーター

使用燃料・・・灯油／電気、ファンヒーターにあってはガスを使用するものもあります。

- 注意事項・・・
- 1、給油する際は必ず一回消火する。（給油中引火する恐れ）
 - 2、給油燃料を間違えないように！（灯油は白色、ガソリンは薄紅色）
 - 3、30分に一回程度は部屋の換気をする。（頭痛やめまい、意識がなくなるなど一酸化炭素中毒の恐れ）
 - 4、近くに燃える物を置かない。（衣類などの乾燥には絶対使用しない）
 - 5、小さな子どものいるところはやけどに注意！（ストーブの周りに柵を設置する等子どもを近づけない）

②コタツ

使用燃料・・・電気／練炭で、温泉地などではその自然蒸気を利用したコタツもあるようです。

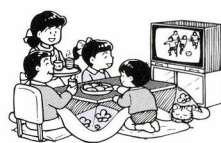
- 注意事項・・・
- 1、電気コタツのスイッチの切り忘れに注意！
 - 2、コンセント、配線の劣化に気をつける。
 - 3、練炭コタツでは、やけど・中毒に注意！

③電気毛布・電気カーペット・アンカ

- 注意事項・・・
- 1、コタツと同様に、スイッチの切り忘れがないように気をつけましょう。
 - 2、肌に直接触れたままだと低温やけどをする恐れがあります。

使い方を間違えれば火事の元になる暖房器具です。正しく使用して寒い冬をあたたく過ごしましょう。

*消防署では町内会や職場内での防災訓練や救急講習会を随時受け付けています。気軽にご相談下さい。



農業委員活動に 葉たばこ生産振興に スポーツ振興に

頑張っています 各分野で表彰

各分野で熊本県表彰があり、熊本県農業功労者の表彰が11月13日、熊本市のホテルキャッスルで行われ、本町から田上幸人さん（村山）が農業委員会活動等に対して、本田登さん（永野原）が葉たばこ生産の振興に対して表彰されました。また、スポーツ振興関係表彰では、9月19日に菊水町で行われた県民体育祭で本田力さん（村山）が長年の陸上の指導と審判員としての功績に対して県陸上競技協会長から表彰されました。皆さんの受賞を心からお慶び申し上げます。

スポーツ振興表彰



大字高森 本田 力さん

町の陸上競技の普及と発展を目的とした高森町陸上部が昭和47年に設立され初代部長として長きにわたり中心的に活動されました。百メートルの選手として28回県民体育祭に出場し15回の入賞をされています。また、郡内の陸上競技力の強化と長距離選手の育成を目的とした町村対抗阿蘇山一周駅伝大会の開催に努力され、選手の育成と陸上競技の普及発展に寄与されてきました。

略歴 昭和47年高森町陸上部設立、初代部長、及び郡陸協理事、昭和52年から開催の阿蘇山一周駅伝大会の開催に尽力。昭和57年から熊本県陸上競技審判員などを歴任。

たばこ振興表彰



大字永野原 本田 登さん

葉たばこの苗の均一化と省力化を図るため昭和52年に草部共同育苗施設の建設を推進、地域のたばこ振興に大いに努められてきました。更に、在来種の産地であった南郷地域に高齢化、担い手不足が進む中、耕作者と面積が減少、この状況を打破するため、比較的省力化のできる黄色種の導入に自ら試験栽培を行い、黄色種の導入を関係各方面へ働きかけ実現させました。

略歴 昭和61年から阿蘇たばこ耕作組合理事、平成元年からは熊本県たばこ耕作組阿蘇支所推進員、平成4年から熊本県たばこ耕作組監事などの県や郡、町の役員を歴任。

農業振興表彰



大字高森 田上幸人さん

恵まれた草資源を生かした、阿蘇の赤牛生産はこれまでの農家経営を大きく支えてきました。この赤牛の振興に牧野組合長や、南阿蘇畜協理事として事業推進と、指導啓発に尽力されてきました。また、平成元年度から農業委員に選任され平成四年からは農業委員会会長として委員会の権威保持と、資質の向上に特に意を注がれ審議の適正化に努められています。

略歴 昭和50年から南阿蘇畜産農業協同組合理事、平成元年から高森町農業委員、平成3年町農業振興地域整備促進協議会委員。平成6年町農業構造政策推進協議会委員等を歴任

統計だより

十月十八日は統計の日

九州農政局

阿蘇統計情報出張所

上在の松尾治実さん

農林水産大臣から

感謝状



松尾治実さん

農林水産省では長年にわたる統計情報協力者に対して統計の日を記念して農林水産大臣表彰を行っています。

今年は、高森町から松尾治実さん（上在）が表彰を受けられ、十月二十日に「農林水産大臣感謝状伝達式」が熊本合同庁舎において行われました。

松尾さんは、五年の農業経営統計調査と十年にわたる林家経済調査の記帳にご協力され受賞されました。



ボケは防げる、治せる
突然始まるボケなんてない！

いよいよ冬本番になってきました。冬は若者にとってはスキーやスノーボード等冬しかできないスポーツを楽しむ時期、高齢者にとっては閉じこもりの時期かもしれません。

さて、家にばかり閉じこもっていると、ぼけるとよく言います。「ボケたら入院か、施設へ入所」と思っている人、それは間違いです。痴呆は今までは、なっ

まえば治らない「不治の病」と思われていましたがそうではなくて治るのです。がんも早く見つけて早く対処すれば完治しますよね。それと同じで早く見つけて早く対処すれば治るのです。

早めに見つけるってどうするのかって？脳がいきいきしているかそれとも眠りかけているかそれがわかるテストが最近開発されました。これで試せば一目瞭然！

では、どんなテストでしょうか？
一つには目や耳・鼻・口・手等外から入ってきた情報をどう判断して自分の考えを創りあげていくかなどの脳の中でも最高の機能を持つ前頭葉という部分の働きをみるものです。また、この部分は《人間らしさ》を表出するところであり、ここが上手く機能しなくなると人間が人間らしく、その人らしく生きていけなくなります。

二つ目は外からの情報を取り込み、記憶、計算、運動、想起（思い出すこと）などの機能が上手く働いているか、大脳の後半部の働きを調べるものです。

これらのテストを組み合わせて、これにより脳の働き具合、健康具合、いきいき具合がよく分かっています。では、どうしたら治るのでしょうか？

ボケの中の九十パーセント以上は生活習慣によるものと言われています。すなわちボケは悲しき「脳の生活習慣病」、生活習慣を見直して生き方を変えれば中ボケまでは直すことができます。早く見つけて早く生活習慣を改善すればそれだけ治るのも早いのです。

「なんかちよつとおかしいな？」と思ったら早めに保健婦にご相談下さい。ボケは他人事ではありません。ボケたくない人、私たちと一緒にボケない生活を考えてみませんか？



宮本栄養士のいただきます



手早くきれいで環境にやさしい洗い方 パート2

◆汚れの少ないものから洗う

食事を楽しんだあとが問題の後片づけです。「汚れの度合いによって食器を分けて、汚れの少ないものから洗うのがコツ」湯飲み、グラス、おひたしや漬け物の皿。少々の油やソース、煮汁のついた皿。それに肉料理の皿やサラダ鉢という具合です。ご飯茶碗はご飯粒を取りやすくするため、湯に浸し、皿についた汚れは電話帳などの紙で取り除いておきます。こうすれば流しはほとんど汚れません。

◆流した水はいつか飲む水

洗い物に手がかかるのは、食事に揚げ物やマヨネーズ、ドレッシングなど油を使った料理が多くなったから。煮物、漬け物、焼き魚といった昔のメニューとは汚れの質が違います。食生活を見直して、油をあまり使わない汚れを落としやすいものに変えることも考えたいですね。

生活が複雑になればなるほど、それに伴う汚れが生じます。その汚れを洗い流してくれるのが水です。汚れを流してくれた水は、またいつか必ず今度は飲む水となって私たちのもとに戻ってきます。だから水を汚さない生活スタイルが必要なのです。



ご飯にも合うおかず ～ワントンの衣を使って～

☆エビの変わり揚げ

□材料 (2人分×3回分)

えび(車エビ、又は大正エビ) 8尾、ワントンの皮 24枚、卵白 1個分、酒 小さじ 1、塩 少々、揚げ油適宜

□作り方

①エビは尾の1節を残して殻をむき、尾の先を斜めに切り取る。②背わたがあれば竹串で取り、揚げたとき曲がらないように、腹側を3～4カ所浅く切り目を入れ酒、塩をふる。③ワントンの皮は幅2cmに切って細切りにする。④エビの水気を拭き尾を残して卵白をつけワントンの皮をまぶしつけ、こんがりきつね色になるまで揚げる。保存は密閉容器に入れ冷蔵庫で2～3日。

平成10年 第6回 臨時会



議決されたもの

◇高森町長等給与及び旅費に関する条例の一部改正
元職員の非行に対して、監督不行届による自己処罰が可決されました。

◇高森町振興計画策定審議会条例の一部改正
審議会運営を充実するための改正が可決されました。

◇高森町税条例の一部改正
地方税法の改正により一部改正が可決されました。

◇一般会計補正予算
公共土木施設災害復旧費に百六十八万七千円の補正のほか、消防団旗の購入費に百二十万円の補正、平成十年度の一般会計予算総額は四十九億九千三百三十二万五千円となりました。

求人案内 (南阿蘇地区) (平成10年11月13日現在)

★男女不問

- ① 土木施行管理技師・ 1名・25～30歳 200,000～250,000円
- ② 寮母及び寮父・・・ 2名・30～67歳 150,000円

★男子

- ① 裁断工・・・・・・ 2名・18～47歳 130,000～150,000円
- ② 調理見習・・・・・・ 1名・18～23歳 150,000～160,000円
- ③ 土木技術者・・・・ 1名・25～50歳 210,000～310,000円
- ④ 観光バスドライバー・ 2名・30～60歳 180,000～250,000円
- ⑤ 飲食店業務及び宿泊所管理・ 1名・18～40歳 150,000～200,000円
- ⑥ 営業員・・・・・・ 1名・25～35歳 190,000～310,000円

★女子

- ① 縫製工・・・・・・ 3名・18～57歳 108,000～120,800円
- ② キャディー・・・・ 3名・18～55歳 120,000～200,000円
- ③ ウェイトレス・・・・ 2名・18～35歳 130,000～180,000円
- ④ 清掃係 (パート)・ 2名・18～57歳 720円/時給
- ⑤ 歯科衛生士・・・・ 2名・55歳以下 149,500～175,500円
- ⑥ 看護助手・・・・・・ 3名・17～55歳 120,000～150,000円

※掲載内容はほんの一部です。このほかにも求人があります。
お問い合わせは早めに

阿蘇公共職業安定所 TEL 0967-22-0040 紹介係へ

お問い合わせ時に、求人が取り消される場合もありますのでご了承下さい。

ふるさと情報発信事業

～「住民手作りビデオ制作」だより～

高森町PRビデオ(四部構成)の第二部では、二人の町外レポーターが、最近人気を高めている「高森の食」をたずねて旅をします。この町外レポーターですが、プロでは新鮮味がないし、素人さんだと会話や撮影に不安がありすぎるし……。ということで選ばれたのが県主催の「国体住民キャスター養成講座」に参加していた、アナウンサー志望の藤本愛英さん(県立大2年)とラジオのパーソナルティになりたいという平野裕子さん(学園大2年)のお二人です。二人とも物怖じしないチャレンジ精神旺盛な、そしてとても明るい学生さんです。高森の印象は？と聞くと「根子岳が近くでみられてすごい。」「市内のこんな近くにいいところがあったんですね。」「ぜひ、ドライブに來たい、友達を連れて・・・いや彼氏と?！」と高森をずいぶん気に入ってくれたようで制作班としてもいいビデオが撮れそうと期待が膨らみました。次回より数回にわたり町外レポーターの「高森の旅」をお伝えします。

～制作班日記より～



町外レポーターとして協力いただいた平野さん(左)、藤本さん

広報たかもり からのお願い

■転居のときは連絡ください

広報たかもりが宛先不明で返送されること、がしばしばあります。住所、氏名の変更など、早めにお知らせください。いふるさへの熱い想いをお寄せください。

■広報郵送料のご協力をお願いします
本誌は毎月三千三百部を印刷し、町内配布と共に北海道から沖縄までのたかもり出身の皆様にもお送りして「ふるさと」の便利としてご愛読いただいています。

■たかもり出身の皆様へ
皆様方のご協力により、昨年度は十四万五千五百円、本年度も既に九万円を超えるご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。ごさいました。寄付いただいた方はお名前を紹介し、本誌は郵送の場合、一ヶ月に百四十円から引きます。(広報誌代は別)引き続き、現金(小為替など)や、九千円以下の少額切手で、一年分程度のご寄付を毎年お願い申し上げます。

たかもり出身の皆様へ